

2023年度第11回千葉県都市交流中学生テニス大会 監督連絡会資料

以下に特に注意する点を記します。気持ちよく試合が進行するように、大会の運営、進行にご協力ください。

<準備>

選手変更あるいは追加の場合は、「選手変更届」(HPよりダウンロード)を用意してください。監督会議前(8:20)までに提出してください。

<朝>

- 1 受付を8:00~8:10に本部にておこないます。また、試合準備の都合上、最初の対戦のオーダー用紙は8:40までに提出してください。受付時に、プログラム人数分、スコアボードに使用する「ネームプレート」(5枚)をお渡しします。
- 2 監督連絡会を8:20に本部前にておこないます。密を避けるためにチーム代表者1名(監督、代表者あるいは監督補佐)がお集まりください。
- 3 選手変更および追加については、監督連絡会までとします。
- 4 開会式を8:40におこないます。監督(代表者)、監督補佐、選手の皆さんは、クラブハウス前広場に集合してください。
- 5 開会式終了後に、各コートで対戦前の整列及びオーダー交換を行います。オーダー交換後、最初のラウンドの選手はすぐ試合が始められるよう、事前に準備をお願いします。
- 6 試合に必要な物品を開会式終了後に渡しますので、リーグ戦各対戦の若い番号のチームの代表者は本部まで取りに来てください。2対戦目以降は、オーダー提出の際にお渡しします。
(試合に必要な物品) ボール10球、試合結果用紙、バインダー

<対戦前>

- 1 受付時にお渡しした「ネームプレート」は、試合前にスコアボードに掲示してください。
- 2 オーダーの交換は、男D1、男D2、男S、女D、女Sの順で整列しておこなってください。選手は選手紹介の時に対戦相手の確認をお願いします。
注) 選手紹介が終わりしだい直ちに試合を開始しますので、試合のできる服装で整列してください。
- 3 試合前の練習は各サイド、サービス2本ずつのみとします。

<試合後>

- 1 対戦終了後、スコアボードに掲出した「ネームプレート」は取り外して、次の対戦に使えるように保管をお願いします。
- 2 結果の報告は、予選リーグでは番号の若いチームの監督(代表者)が、順位別トーナメントでは勝利チームの監督(代表者)が「すべての対戦結果を記載した試合結果用紙(バインダーごと)、試合で使用したボール」を本部に提出してください。
- 3 次の対戦の相手チームが決まっている場合には、すみやかに次の対戦用のオーダー用紙を提出してください。

<試合方法>

- 1 リーグ戦のあと、順位別トーナメントを行います。リーグ戦、順位別トーナメントとも全てノーアド、6ゲーム先取で行います。
- 2 男女ともダブルス、シングルスに重複してプレーはできません。
- 3 オーダーは対戦毎に変更して提出することができます。ダブルスは登録順に関係なくペアを組むことができます。提出したオーダーと異なる選手がプレーした場合は、その試合は失格とします。
- 4 対戦はすべて、男子ダブルス No.1、男子ダブルス No.2、男子シングルス、女子ダブルス、女子シングルの順におこないます。リーグ戦は全ポイント実施します。順位別トーナメントは、勝敗が決定した場合、ポイントを打ち切ることができます。
- 5 メンバーが不足する場合でもチームの対戦は成立とし、不足する種目のみ不戦敗でスコアは0-6とします。なお、不足する種目については任意に選択できることとします。
- 6 全試合セルフジャッジとします(セルフジャッジ5原則の周知をお願いします)。ロービングアンパイアを配置しますので、何かあれば申し出てください。
- 7 ベンチには各コートに1名のベンチコーチを置くことができます。ベンチコーチは登録されている監督、監督補佐及び選手とします。テニスウェア、テニスシューズを着用してください。
- 8 スコアボードは左側に試合中のスコア、右側にチームの対戦結果を表示してください。
- 9 試合進行はOPによりますが、進行状況によりコートを変更する場合があります。その際は本部の指示に従ってください。

<コーチング>

- 1 コーチングができるのはエンド交代の休憩時のみです。プレー中の声援は下記に注意してください。
 - ・コーチングになる例 : 「前に出ろ」「ロブを使え」「もっと、振りぬけ」
 - ・コーチングにならない例 : 「ナイスショット」「ガンバレ」「先リード」「ポイント」「もう一本」
- 2 プレー中、ベンチコーチは立ったままで応援できません。

<その他>

- 1 会場には練習コートがありません。壁打ちも使用不可としますのでご了承ください。会場は一般の方も使用しますので感染防止対策にご協力お願い致します。また、ごみは全て持ち帰ってください。
- 2 やむを得ず中学生が不足する場合は、在住、在学の小学生を登録することを認める。